

みんなで芋ほり

2021.10.24



「やったー！」



まち協の3地区連携事業として収穫祭を開催しました。今年も池尻元区長の山本さんにさつま芋の苗を植えて頂き、収穫のはこびとなりました。当日は、お子さん44名、保護者27名、スタッフ10名の参加で楽しい会となりました。

子どもたちからは、「焼き芋にして食べたい」「来年も来たい！」などの声。富士小の福井校長からは、「全ての子どもたちが生きることが印象に残りました。子どもたちががんばって掘ったイモはどれも大きくて立派。貴重なそして楽しい体験ができ、富士・上深田・池尻の皆様が一体となってできたからこそ芋ほり大会は富士小生徒にとりまたまちづくりの活性化という視点からも有意義でした。



機会を設けて頂いた山本さんは「ニュータウン開発により、池尻地区が富士小校区となり30数年になります。まち協からお声をかけて頂いた芋ほりも今年で4年目を迎えました。去年は新型コロナの影響で中止。今回は無事に開催でき、私の楽しみにしていた子供たちの笑顔を見ることが出来ました。」



まち協全体会議で 「まちづくり」セミナー

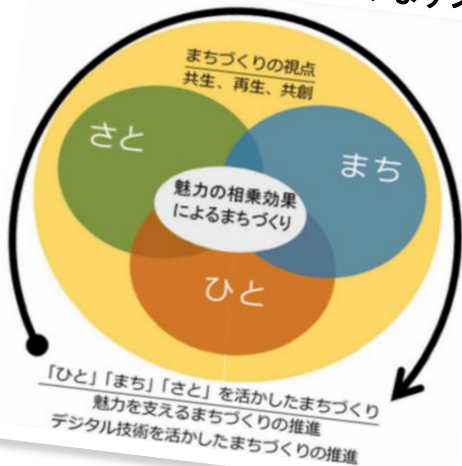
県立大学自然環境科学
研究所の赤澤宏樹教授
をお招きして開催！



富士小校区の特色と まちづくり 2021.11.21



「ひと」×「まち」×「さと」が織りなす未来 三田



「ニュータウンの中に農村がある」これはすごいこと！

それが富士小校区だ。都市と農村がすぐちかい。こんなまちは全国でも珍しい。

幸せになるのだったら、どのようなやり方でもいい。色んな生産者や消費者を持っていたらその土地の魅力は落ちない。

そんな話から始まった赤澤先生の講演。そのあとは、参加者との意見交換がありました。

まち協ってなに？
それは「場」です。

今ある団体が集まって話し合うこと。必ずしも新しいことをしようとうことではない。誰が入ってくるのも自由。100人・1000人でやるのがまち協でできるかもしれない。誰もやる人がいなくなったら止めたらいい。「やりたい」という人であるかもしれない。

●富士小校区の特色と可能性

- 1つの校区内にニュータウンと農村がある
 - ・農村の歴史文化をニュータウン住民も体験できる
 - +歴史文化を支える可能性
 - ・超新鮮な農産物をニュータウンに提供し、様々な方法で買い支える可能性
- 校区内にも商業施設がある
 - ・事業者と適切な規模で協力できる可能性
- 地区センターに隣接はしていない
 - ・新しいモビリティサービスをまず試す可能性

●まちづくり協議会ってなに？

地縁型コミュニティ
自治会、婦人会、子ども会、老人会・・
→同じ地域に住んでいる
方々の「活動団体」

テーマ型コミュニティ
スポーツクラブ、子育てサークル、
〇〇愛好会・・
→同じ趣味や志向を持つ
方々の「活動団体」

まちづくり協議会

すべてのコミュニティ(活動体)が集まり
ゆるやかに連携・協力する「場」

赤澤先生と 自由討論

まち協 = 今ある団体が集まって話し合うこと。

よくある質問

まち協が何してるかわからん。

地域全体がまち協です！あなたの活動も！

また仕事増えるんっちゃう？

重複を解消したり、協力して楽にしましょう。

自治会の仕事を手伝ってほしいんやけど。

他の団体も手伝って欲しいことがあるかも。

自治会は必要ないってこと？（怒）

まち協で話し合うと、自治会の大切さが良くわかります。



これまでの10年＝わからないことが多い、経験豊かな人が引っ張ってきた「先導期」であったが・・・

⇒次の10年は？

これからは、経験豊富な方だけでは難しい。「ハードルをさげる」＝誰にでもできる場にする「共有期」。やりたいことを持ち寄って協力しやすい場にする。

参加者との自由討議では・・・



早川さん（ツツジ会会長）：市の老人会までやるのは行事が多すぎて断っている。

老人会の会員が減ってきた。当初70が今は32名。亡くなった方が多い。「行事が多すぎるのでいや」、「役を仰せつかるのもいやなので老人会に入りたくない」と言われる。

赤澤先生：二大悩みだ。ほかの団体も皆感じていること。それぞれの団体がそれぞれやっている⇒或る行事をやるのを他の団体にも声をかけて「団体ごとの仕事ではなく、行事ごとの機能にする」という方法もある。

団体活動のことでアドバイス

山口さん（防災部会）：防災協力員の募集は2年間で2名しか集まっていません。また、今年から避難行動要支援者の避難支援に取り組もうと計画したが、コロナ禍でお手紙投函だけになった。今後の取り組み方などはいかに？

赤澤先生：どんな仕事も「やった後の広報」が大事。こんな様子でした、と紹介すれば次の年たくさん来る。「こんなこと」と伝えることが大事。半周遅れになるかもしれないが良くなる。また、地域のことはみんなに知っていただくこと。「安全」と「広報」これは全住民に関係する。会員でなくても助ける。関わりのない人でも知らせる。そういう機能はまち協でやったらいい。ルールについては、わからない人・世代がある。それは「わかりやすく、先に言っておくこと」が大事だ。役所で対応してもらえない時は、個人で言うより団体、特にまち協から役所に言ってもらうのがベター。



会長 友田 竹子
富土が丘連合自治会

2012年12月26日（土）19時53分
パナソニック防犯カメラの設置
なごみ回収の申し込み
おたけの会の活動報告

近頃、新型コロナウイルスの感染が拡大している。予防対策として、マスクの着用や手洗いの徹底が求められる。また、高齢者や障害者など、外出が困難な方への支援も重要である。

富土が丘連合自治会では、地域住民の安全と安心を確保するために、様々な取り組みを行っている。例えば、防災訓練の実施や、高齢者への見守りサービスなどである。

富土が丘連合自治会では、地域住民の安全と安心を確保するために、様々な取り組みを行っている。例えば、防災訓練の実施や、高齢者への見守りサービスなどである。

「富土が丘連合自治会」便り

富士小校区で防災訓練

富士が丘防災部会では、11月14日に第11回の防災訓練を実施しました。今回は、コロナ禍での開催のため、各地区での「無事カード」の掲出確認による安否確認と富士が丘連合自治会を主体とした「災害対策本部立ち上げシミュレーション」を行いました。

<スケジュール>



8:30～訓練開始（門扉や玄関先に無事カードの掲出）

9:00～班長による無事カード掲出の確認

9:00～会長会を主体とした、災害対策本部立ち上げシミュレーション

災害対策本部立ち上げシミュレーション



災害時にいち早く対策本部を立ち上げることは重要であり、今回初めてシミュレーションを行いました。★シミュレーションで検討した事項は、・本部の役割り・災害時の、コミセンの運営、防犯体制、ゴミ処理体制、広報活動等・避難所運営委員会の設置等★シミュレーションにより得られた教訓は、・対策本部の役割りを確認し、役割りを果たすには



人手不足が明らかになったので、今後対応策を検討して行く。・避難所運営委員会の初動体制の設置も重要な役割だが、こちらも更には人手不足が明らかになった。なお参加者は、避難所運営ゲーム（HUG）を通して避難所運営の課題などを認識しました。

無事カードは73%掲出！

無事カードの全体の掲出率は、一昨年：53%、昨年：67%、から今回は、73%に上昇しました。



「無事カード」は、地震等により家の中で、人が家具等によって下敷きになったり、居室内に閉じ込められたりといった被害が発生していないかを「無事カード」の掲出の有無により、外部から確認するためのものです。

コミセン入り口に「AED設置」

富士まち協では、自治会防災部会の協力を得て、地域住民の皆さんの万一の心機能急変の事態に備えて、AEDを屋外設置しました。

AEDは、心電図を自動的に解析して、除細動のための電気的なショックを供給する必要があるかどうかを判定し、ショックを供給すべき場合に使用者に知らせ、使用者が通電ボタンを押すことで除細動が行われる医療機器です。



編集後記

赤澤先生からは、「どんな仕事もやったあとの広報が大事。そうすれば次の年たくさん来る。半周遅れになるかもしれないが良くなる。」との話がありました。「はーもにい」は住民のための広報、構成団体のための広報誌ですから、行事あったら、ぜひ「写真を添付して」まち協事務局気付け広報部まで送ってください。HS

富士小校区まちづくり推進協議会事務局

〒669-1547三田市富士が丘2-18 コミセン内

電話：079-550-1016

富士が丘ポータルサイト：<http://sanda-fujigaoka.com/>

「はーもにい」編集責任者：まち協広報部長

メール：fujimachikyo20140511@hera.eonet.ne.jp